

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 サンコーテクノ株式会社
 コード番号 3435 URL <http://www.sanko-techno.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 佐藤 静男

TEL 04-7178-5530

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,943	4.7	60	—	43	—	△25	—
24年3月期第1四半期	2,811	8.0	△14	—	△26	—	△20	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 63百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △2百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△12.59	—
24年3月期第1四半期	△10.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	13,480	6,759	49.0
24年3月期	13,504	6,767	49.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 6,609百万円 24年3月期 6,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,700	2.5	230	0.6	200	△2.5	114	13.8	56.03
通期	14,950	7.9	660	13.2	600	2.8	350	22.6	172.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	2,186,352 株	24年3月期	2,186,352 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	151,669 株	24年3月期	151,593 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	2,034,755 株	24年3月期1Q	2,034,759 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、欧州債務問題を背景とした景気減速や円高の長期化、電力供給の制約などの要因により、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが関連する建設市場におきましては、東日本大震災の復興需要や民間設備投資に一部明るさが見えましたが、本格的な建設需要の回復には至っておらず、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、主力製品であるアンカー製品を積極的に販売すると共に太陽光発電市場向けの製品を本年7月1日施行の「再生可能エネルギー全量買取制度」への速やかな対応を見据えて積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,943百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益60百万円（前年同期は営業損失14百万円）、経常利益43百万円（前年同期は経常損失26百万円）となりました。四半期純損失は、25百万円（前年同期は四半期純損失20百万円）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

①ファスニング事業

停滞していた耐震関連工事の発注が一部回復してきたほか、復旧・復興に向けた小規模な物件が引き続き多く発生し、主力製品である金属拡張アンカーが好調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は2,404百万円（前年同期比5.9%増）、セグメント利益は102百万円（同282.0%増）となりました。

②リニューアル事業

FRPシート関連製品や外壁補修関連製品が順調に推移しましたが、受注工事物件での着工遅れなどによる完工時期のずれこみがありました。

この結果、当セグメントの売上高は434百万円（同11.1%増）、セグメント損失は33百万円（前年同期はセグメント損失56百万円）となりました。

③センサー事業

電子基板関連で車両向けの製品受注は好調に推移しましたが、アルコール測定器の売上が伸び悩みました。

この結果、当セグメントの売上高は122百万円（同27.2%減）、セグメント損失は15百万円（前年同期はセグメント利益5百万円）となりました。

なお、数値にはセグメント間取引を含んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より23百万円減少して13,480百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が減少した一方、たな卸資産が増加したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より15百万円減少して6,721百万円となりました。これは主として役員退職慰労引当金が減少した一方、流動負債その他が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より8百万円減少して6,759百万円となりました。これは主として利益剰余金が減少した一方、為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度における日本経済の先行きは、欧州債務や円高そして電力供給など多くの問題を抱えており、依然として不透明感が漂っております。建設業界におきましても、東日本大震災の復興需要や民間設備投資に一部明るさがみえてきましたが、当社主力製品が使用されるコンクリート等の建設資材の不足や、人員不足による工事の遅延が懸念されております。

このように、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況ではありますが、建物の維持保全分野や環境分野での需要増に積極的に取り組んでおります。とくに環境分野においては、本年7月1日から施行された「再生可能エネルギー全量買取制度」により、自然エネルギーを活用した太陽光発電の設置が相次いでいる中、当社製品・工法ニーズもより高まってくることが予想されます。

当社グループにおきましては、引き続き、中期経営ビジョンのもと、安全・安心・環境をキーワードに、平成25年3月期計画の達成に向けて取り組んでまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,335,047	1,446,574
受取手形及び売掛金(純額)	2,953,551	2,449,650
たな卸資産	2,387,373	2,699,519
その他	734,833	654,318
貸倒引当金	△23,387	△19,488
流動資産合計	7,387,419	7,230,574
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,296,645	1,295,677
土地	3,009,367	3,013,327
その他(純額)	416,325	563,703
有形固定資産合計	4,722,338	4,872,708
無形固定資産	114,387	113,561
投資その他の資産	1,280,607	1,264,124
固定資産合計	6,117,332	6,250,394
資産合計	13,504,752	13,480,968
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,013,850	985,486
短期借入金	3,808,493	3,742,519
未払法人税等	98,956	51,985
賞与引当金	133,414	203,323
その他	390,706	560,144
流動負債合計	5,445,421	5,543,459
固定負債		
長期借入金	21,400	15,568
退職給付引当金	925,896	943,890
役員退職慰労引当金	229,652	26,007
その他	114,601	192,593
固定負債合計	1,291,549	1,178,058
負債合計	6,736,971	6,721,518

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	581,191
利益剰余金	5,684,029	5,587,200
自己株式	△244,111	△244,258
株主資本合計	6,789,701	6,692,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,629	△17,286
為替換算調整勘定	△138,959	△65,769
その他の包括利益累計額合計	△154,588	△83,055
少数株主持分	132,668	149,781
純資産合計	6,767,781	6,759,450
負債純資産合計	13,504,752	13,480,968

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	2,811,809	2,943,257
売上原価	1,927,295	1,983,279
売上総利益	884,514	959,978
販売費及び一般管理費	898,860	899,420
営業利益又は営業損失(△)	△14,346	60,557
営業外収益		
受取利息	2,247	2,180
受取配当金	1,125	1,256
仕入割引	9,975	9,264
投資不動産賃貸料	7,560	7,674
持分法による投資利益	1,008	1,673
その他	5,873	7,682
営業外収益合計	27,792	29,731
営業外費用		
支払利息	6,182	5,261
売上割引	21,629	23,801
その他	12,302	17,699
営業外費用合計	40,114	46,762
経常利益又は経常損失(△)	△26,669	43,526
特別利益		
固定資産売却益	1,428	—
特別利益合計	1,428	—
特別損失		
固定資産除却損	1,577	1,594
役員退職慰労金	—	72,162
その他	2,531	777
特別損失合計	4,109	74,533
税金等調整前四半期純損失(△)	△29,349	△31,007
法人税等	△11,023	△10,362
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△18,325	△20,644
少数株主利益	2,651	4,968
四半期純損失(△)	△20,977	△25,613

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△18,325	△20,644
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,721	△1,659
繰延ヘッジ損益	△219	—
為替換算調整勘定	14,556	85,323
その他の包括利益合計	16,058	83,664
四半期包括利益	△2,266	63,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,983	45,876
少数株主に係る四半期包括利益	4,717	17,143

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,270,175	385,440	156,194	2,811,809	—	2,811,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	510	5,909	12,027	18,447	△18,447	—
計	2,270,685	391,349	168,221	2,830,256	△18,447	2,811,809
セグメント利益又は セグメント損失(△)	26,915	△56,951	5,600	△24,435	10,089	△14,346

- (注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,401,117	432,410	109,730	2,943,257	—	2,943,257
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,628	2,537	12,697	18,863	△18,863	—
計	2,404,745	434,948	122,427	2,962,121	△18,863	2,943,257
セグメント利益又は セグメント損失(△)	102,822	△33,103	△15,288	54,430	6,127	60,557

- (注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。